

## 岩手県金融経済概況（2026年1月）

### 1. 概況

県内経済は、一部に弱めの動きもみられるが、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、持ち直している。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、減少している。この間、生産は、緩やかに回復している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

### 2. 最終需要

公共投資は、持ち直している。

先行指標である公共工事請負金額（2026年1月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲6.3%）。

設備投資は、増加している。

2025年12月短観（岩手県）の設備投資額をみると、2025年度は製造業と非製造業がともに前年度を上回っており、全産業では前年度を+10.0%上回る計画となっている。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2025年12月）は、5ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲15.5%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2025年12月）は、3ヵ月振りに前年を下回った（同▲1.2%）。また、新車登録・届出台数（乗用車<含む軽>：2026年1月）は、7ヵ月連続で前年を下回った（同▲8.0%）。

この間、サービス消費は、緩やかに増加している。

住宅投資は、減少している。

新設住宅着工戸数（2025年12月）は、3ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲23.7%）。内訳をみると、持家（同▲26.0%）、貸家（同▲21.9%）、分譲（同▲2.3%）とも前年を下回った。

### 3. 生産動向

生産は、緩やかに回復している。

鉱工業生産指数（季節調整値：2025年11月）は、4ヵ月連続で前月を上回った（前月比+2.3%）。主な業種の指数をみると、電子部品・デバイス等が低下した一方、食料品、生産用機械等が上昇した。

四半期の動きをみると、2025/7～9月は2期振りに上昇した（2025/1～3月：前期比+4.4%、4～6月：同▲5.7%、7～9月：同+2.7%）。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2025年12月）は、1.07倍と、前月（1.06倍）から上昇した。

雇用者所得（県内合計値：2025年12月）は、常用雇用指数（前年比+0.6%）が前年を上回った一方、名目賃金指数（同▲4.7%）が前年を下回ったことから、2ヵ月振りに前年を下回った（同▲4.2%）。

### 5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2026年1月）は、引き続き前年を上回った（前年比+2.2%）。

### 6. 企業倒産

企業倒産（2026年1月）は、3件、負債総額1,307百万円となった（前年同月は4件、負債総額602百万円）。

### 7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2025年12月）をみると、預金、貸出ともに前年を上回った。貸出約定平均金利（2025年12月）は上昇している。

以 上

お問い合わせ：  
日本銀行盛岡事務所  
019-624-3622

<ホームページ>

